



バラはおひさまも水もそよ風も 大好きです バラを健やかに育てる



育てる環境

なるべく長く日の当たる場所がおすすめですが、1日のうち日光が3時間以上当たる所であれば、バラの栽培は可能です。

更に詳しい育て方は
こちらまで



水やり

土の表面が乾いたら「たっぷり与える」が基本です。
鉢植えは鉢底から水が流れ出るまで与えてください。
与える時は、静かに根元に流し込むようにあげましょう。



花がら切り

花の色が悪くなってきたら、早めに花を切り、次の芽を出させます。
一番花の花がら切りは、3月から伸び始めた枝の中頃を切ります。
二番花・三番花の花がら切りは、一番花・二番花で切ったところから伸びた枝の、中頃を切ります。



寒肥(庭植之)

毎年、冬に施します。
一年間の生育を左右するだいじな肥料です。



追肥

鉢植えは土の容量が定まっているため、
成育中の栄養補給(追肥)はかせません。
元気なバラには定期的に施しましょう。
庭植えでは、寒肥がしっかり施されているれば
不要な場合もありますが、定期的な施肥も効果的です。

「台木の芽」が伸びてきたら...

1つの苗に、2種類の違う枝葉が出てきた場合は、
台木のノイバラが成長している可能性があります。
接ぎ木部位よりも下から発生している
ノイバラの枝の生え際から剥ぎ取ってください。
その際、鋏を使わない方が確実に取り除けます。



台木のノイバラが成長し
白い小さな一重の花が咲いた場合は、
その枝の生え際を残さない様に
切り落としてください。



病害虫の防除カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
害虫	カイガラムシ												
	コガネムシ幼虫				コガネムシ類成虫								コガネムシ幼虫
	アブラムシ			アブラムシ									
					イモムシ類各種								
					ハダニ								
					うどんこ病								
病気					黒星病								

凡 例

被害が多い時期

発生時期

休眠期の防除